

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和45年度		根拠法令・例規等	備前市身体障害者福祉協会補助金交付要綱
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	施策	03	障害者(児)福祉			
事務事業名		02	身体障害者福祉協会補助事業		問合先	担当課(室)	社会福祉課
					職・氏名	障害者福祉係長 山本光男	
					電話	0869-64-1824	

事業の実施		対象(誰・何に対して)	身体障害者福祉協会
目的(何のために)	身体障害者の社会参加、自立更生を進める。		
行政活動(どのような方法で)	身体障害者福祉協会へ活動費を助成し、団体活動の充実を図る。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	会員数を増やすとともに、団体の活動を充実させていきたい。		

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
会員数	人	500	450	380
事業費	千円	2,084	1,933	1,063
国・県・市・支・出・金	千円			
受・益・者・負・担				
繰・入・金				
繰・出・金				
受・益・者・負・担・比・率	%	2,084	1,933	1,063
結果指標名				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
会員数	人	500	450	380
対前年比	%	-	90.0%	84.4%
活動コスト	円	2,084,000	1,933,000	1,063,000
単当たりコスト	円	4,168	4,296	2,797

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
会員数	目標値(A)			475	700
	実績値(B)	500	450	380	到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	80.0%	平成25年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
身体障害者手帳の交付者等を対象とし、募集により会員を募る。					

事務事業の評価		<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E>	C	
市の関与の妥当性	市民ニーズ		<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	判定理由・課題認識	
市民ニーズ	説明			身体障害者の社会参加及び福祉増進に必要な事業である。	
効率性の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	C	
コスト	説明			判定理由・課題認識	
目的達成度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>	C	
有効性の評価	説明		判定理由・課題認識		
			会員の高齢化及び会員数の減少が著しく、会の活動についての周知が必要である。		

平成21年度の状況		目標値	結果指標量①	500	結果指標量②	500	成果指標量	500
状況		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	平成21年4月に旧市町の身体障害者協会が合併し、補助金等の一元化はできている。今後、事業等の見直しを行う。							

総合評価		評価区分 <A~E> C	妥当性 有効性 効率性
事業の見直しや会員数の増加を求める必要はあるが、この協会が市内の身体障害者が参加する最大の団体であることから、身体障害者の社会参加及び自立更生には必要な事業である。			

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	合併により、事業等の見直しや一元化などを求めていく。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。